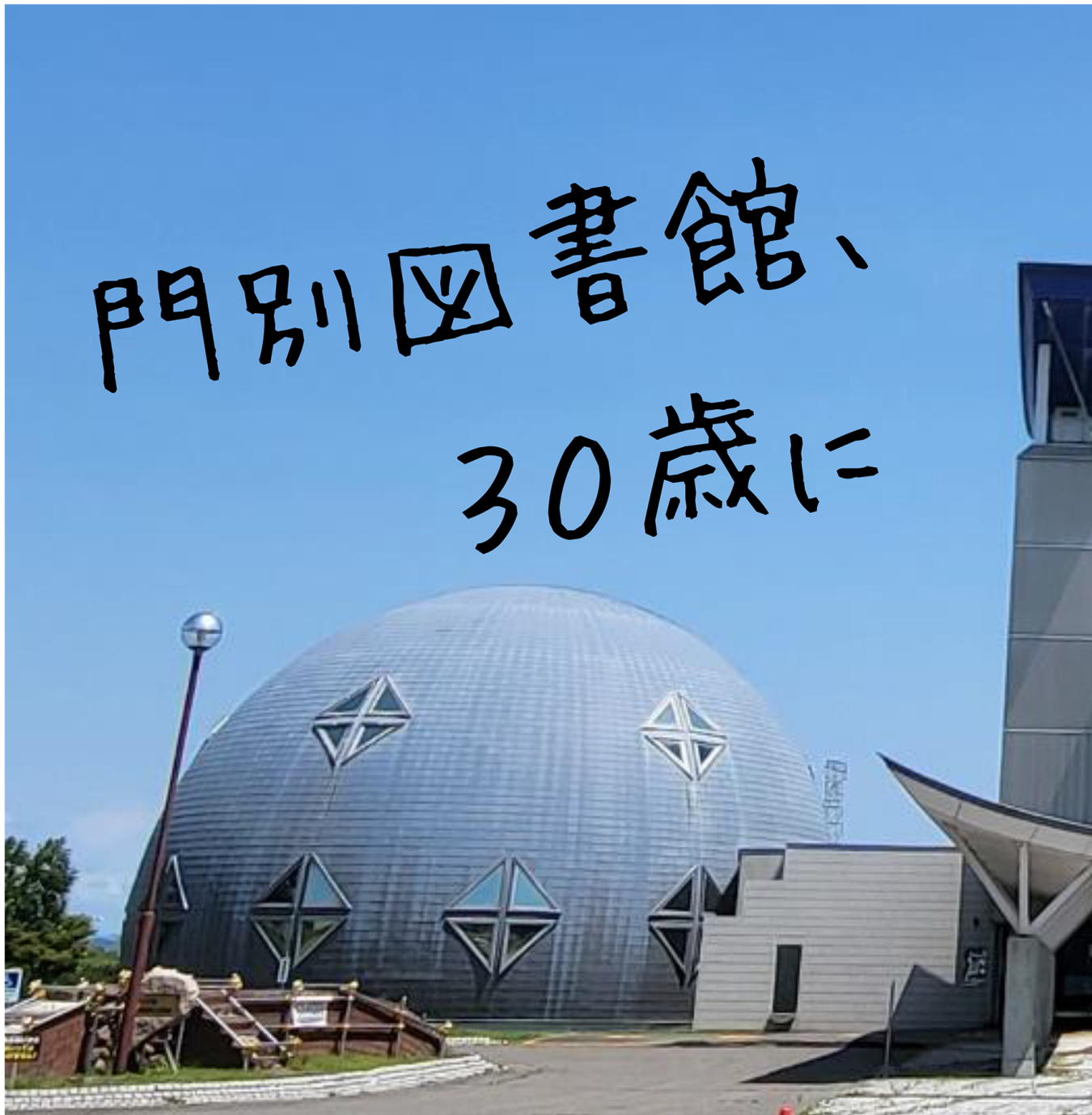


門別図書館、 30歳に



門別図書館郷土資料館は、 今年12月に開館30周年を迎えます。

富川小学校のとなり、沙流川のほとりに建つ門別図書館郷土資料館。30年前、旧門別町120周年を記念して開館しました。建物はドームに青とオレンジの屋根という特徴的な外観で、それぞれ、ドームは「沙流川から流れ着いた情報の卵」、高い屋根は「太平洋から吹く情報の風」、低い屋根は「大地から吹く情報の風」をイメージしています。その近未来的なデザインから、今でも旅行者が写真を撮っていくほど。

館内に足を踏み入ると、中庭の大きなチャチャニレ(ハルニレ)の木がお出迎え。その向こうには小山があり、子どもたちが春夏は芝すべりや草花あそび、冬は雪が降ればそり遊びをしています。さまざまな野鳥がさえずり、日高らしい自然豊かな環境に囲まれています。また、館内には、あたたかな日差しがふりそそぐ閲覧席もありますので、ご来館の際はぜひ座って、その心地よさを体験してみてください。

なりました。



鉄筋コンクリート造一部鉄骨平屋建

本体工事費 10億円

付帯設備工事費 1億3千万円

開館日 平成5年12月13日

敷地面積 16,500 m²

建築面積 2,342 m²



中庭のチャチャニレの木で休憩するミミズク。森と間違えたのかもしれない。(当館職員撮影)